

⌂ 協会関連の主な出来事 ⌂

注：会場の記載がない場合は新潟市内のホテル。肩書・地名は当時のもの。市町村名がない場合は新潟市

年	月日	で き ご と
1965		新潟市西大畑の新潟カトリック教会でドイツ語会話教室が始まる 講師は新発田教会のヨゼフ・ノツオン神父
1977	5月26日	新潟日独協会発会式を新潟駅前の厚生年金会館で。新潟大学学長の北村四郎氏が会長に。専務理事には新大教授の斎藤博氏。財界人も含め150人が集まる 西ドイツ大使館からクルト・フリーゼ文化部長。北村会長がドイツ語で挨拶
1988	6月7日	創立10周年記念式典とパーティー。ハリアー駐日ドイツ大使が臨席
1998～		2年ほど休会状態が続く
2001	8月31日	活動を再開。例会、懇親会を開く。会長に関妙子氏、専務理事に小田良彦氏 講師 マルクス・ルティンスキー氏による講演「ビールの話」
	12月9日	クリスマスワインパーティー。石本陽子氏による声楽
2002	4月29日	例会、懇親会。桑原聡・新大教授の講演「ドイツ庭園の魅力を探り、ライホビールを愉しむ」。広野光子氏のピアノ演奏
	10月11日	メルツェンビールを愉しむ夕べ。桑原ヒサ子氏の講演「ウィーンのカフェ」
2003	2月28日	カーニバルワインフェスタ。岩田和雄・新大名誉教授の講演「赤ゲット留学奮戦記」。広野光子氏のピアノ
	6月25日	「ローゼンモナートinカーブドッチ」。鈴木雅氏のピアノ。ワイナリーの「カーブドッチ」
	11月21日	例会、懇親会。追手巍・新大教授の講演「フライブルク今・昔」。小川恒子氏の声楽
2004	5月21日	例会、懇親会。野本俊一氏による講演「ローゼンストックの歴史」。栄長敬子氏のピアノ
	10月8日	オクトーバーフェスト。バンベルガーバマンシャフトの演奏会。茂手木潔子・上越教育大教授が解説
2005	3月11日	例会、懇親会。岡本りり子氏による講演「ドイツ人の自然観」。上原千佳子氏のピアノ
	7月27日	例会、懇親会。延原時行・敬和学園大教授の講演「マルチン・ルターの原風景」。小川恒子氏の声楽
	9月11日	フライブルク・アルムニ会と追手巍・新大教授との共同企画でアーノルド・フォークト氏による講演。 大森和美、追手比佐子両氏による箏曲演奏。新大医学部有壬記念館
2006	3月16日	例会、懇親会。岩倉依子・敬和学園大学教授の講演「ルターと二つ城 ヴァルトブルクとマールブルク」 中山徹、師岡雪子両氏による演奏会「バロック音楽の夕べ - ヴィオラとチェンバロ」
	6月9日	例会、懇親会。高橋栄二・岩手医科大学名誉教授の講演「ドイツ心の旅紀行・私の銅版画」。鶴澤浅造氏による文楽義太夫節三味線「御祝儀三番叟」





2006	10月12日	新潟日独協会創立30周年記念 日独文化交流「大須戸能」鑑賞の夕べ。岩船朝日村の大須戸集落農民芸能「大江山」、ドイツバウエルバッハ村シラー自然劇団の公演
2007	2月22日	特別講演会、レセプション。シュテファン・ガロン氏（ドイツ公使経済科学部長）が「ドイツ・EUの展望」について。北嶋藤郷・敬和学園大学教授の講演「良寛」。鶴澤浅造氏の「御祝儀三番叟」
	4月5日	例会、懇親会。櫻井浩治・新大名誉教授の講演「良寛さんと現代」。上原千佳子氏のピアノ
	4月12日	ドイツ語講座《初級・中級》。講師スヴェン・イエント氏、アシスタント講師に小林りり子氏。週1回の連続で。クロスパルにいがた
	11月23日	例会、講演会。小島健一・新大名誉教授の講演「フライブルク 再び」。ゲストにドイツ大使館のマーティン・ポール、ローゼンストックジャパンのデイトマー・ラスバウアーの両氏。栄長敬子氏のピアノ
2008	3月31日	G8サミット労働相会議開催記念の特別講演会、レセプション。ドイツ大使ハンス＝ヨアヒム・デア氏の講演「二国間関係としての日独、多国間関係のなかの日独」
	11月27日	クリスマス・ワインパーティー。星理恵子氏のバイオリン、小林史佳氏の津軽三味線演奏
2009	1月15日)	ドイツ大使館・本県主催「新潟におけるドイツ展」。レセプションパーティー。県とドイツとの交流の歴史に関する展示、PRなど。大使館（東京）
	2月5日	
	4月23日	「新潟におけるドイツ展」開催記念特別講演会、レセプション。トーマス・プリンツ参事官の講演「壁崩壊から20年－何が達成されたか、何が課題か」。栄長敬子氏のピアノ
	11月19日	日独修好150周年記念講演会。ヘルマン・グンプ氏が「新たな住処、新潟で思ったこと」、アネリ・ヴァイレント氏が「日本学 Japanologieについて」。高橋宣明氏の歌、栄長敬子氏のピアノ
2010	5月20日	日独交流150周年記念講演会 ドイツ大使館の広報部長のヨハン・バイサット氏が「北ドイツ 風景、暮らし、歴史」、アネリ・ヴァイレント氏が「ドイツと日本の絆、私の場合」。中山徹氏のヴィオラダガンバ
	11月25日	日独交流150周年記念講演会 湯浅健次郎氏の「會津八一の国際性」、ロルフ・セクラ氏の「カール・ツァイスの歴史」。栄長敬子氏のピアノ、野口雅文氏の歌
2011	1月12日	日独交流150周年記念晩餐会。ドイツ大使フォルカー・シュタンツェル氏が来港。新潟大学で講演
	6月30日	日独交流150周年記念講演会、懇親会。北嶋藤郷・敬和学園大名誉教授が「小林一茶・良寛・八一」、ゴティエ・リュックマン氏が「私のドイツ・フランス」と題して講演。杉浦順子氏の箏曲演奏
	12月8日	クリスマス・ワインパーティー。星理恵子氏のバイオリン、小林史佳氏の津軽三味線演奏、青柳正俊氏の講演「開港 新潟とドイツ」。野口雅史氏の声楽、栄長敬子氏のピアノ。小田瑞枝氏によるクリスマスフォト展示、エムケイファシリティ社の北欧雑貨展示
2012	5月31日	例会、懇親会。小林昌二・新潟市歴史博物館館長が「チュービンゲン大学ヤパノロジーに滞在して」をテーマに、ダニエル・ピント氏が「ローマの魅力について」で講演。伊藤聡氏のバンド演奏



2012	11月29日	クリスマス・ワインパーティー。全国良寛会会長、元新潟市長の長谷川義明氏の講演「良寛さんに学ぶ」。中山徹氏のヴィオラダガンバ	
2013	4月11日	ザクセン・アンハルト州独日協会会長ら歓迎夕食会	
	4月20日	「春爛漫ドイツ気分で信濃川クルーズ」を開催	
	5月25日	例会、総会。ドイツ大使館広報文化担当公使のクラウス＝ベルント・アウアーによる「日独交流150周年行事の成果とこれから」の講演	
	6月16日	新潟交通の協力でドイツ語サロン「グーテ・ライゼ」を開く。講師は協会事務局長の青柳正俊氏。同社会議室で30日まで計3回	
	7月14日	にちどくゼミナール。新大教授の松本彰氏が「国家と国民歌に歌われたドイツードイツとオーストリアの国歌の歴史」について講義	
	10月13日	新潟シュューベルティアーデ/レパートリー研究会を後援	
	10月19日 ＼ 11月1日	新潟ドイツ映画祭。新潟市の映画館シネ・ウィンドに協力。関連講演会、ミニ音楽会もこの間に開く	
	11月9日	にちどくゼミナール 「ドイツワイン・ブローベの夕べ」。案内役として若林一郎氏。砂丘館	
	12月21日	「りゅーとびあオルガン・クリスマスコンサート」。後援事業。新潟市民芸術文化会館	
	12月21日	クリスマス例会	
	2014	2月22日	にちどくゼミナール。欧文書体デザイナーの小林章氏が「文字から見た日独文化考」を講義。モルゲンロート古町店
		4月6日	トリアー独日協会アウバート会長夫妻を新潟市に迎える
		4月19日	春爛漫ドイツ気分で信濃川クルーズ
5月24日		総会、例会。カール・ベンクス氏の講演「よみがえる古民家」	
8月1日		「新潟居留ドイツ商人 ウェーバーの生涯」出版記念パーティー。青柳正俊氏の著作	
8月9日 ＼ 15日		新潟ドイツ映画祭。関連イベントで「蓮池ももさん&井上経久トーク」やミニコンサート	
9月6日		ドイツの詩と歌曲の夕べ。三浦淳・新大教授による講演と演奏会。新潟市民芸術文化会館	
10月6日		ザクセン＝アンハルト独日協会シュナイダー副会長を新潟市に迎える	
10月29日		新潟市内でマグデブルク大学との交流報告会・懇親会	
12月14日		クリスマス例会。相澤啓一・筑波大学教授の講演「ドイツ語がみてみた日本」	
2015		3月7日	にちどくゼミナール 「ドイツワイン・ブローベ」。案内役として若林一郎氏。砂丘館
		4月6日	マグデブルク大学とザクセン＝アンハルト州独日協会の来港記念講演会および歓迎レセプション



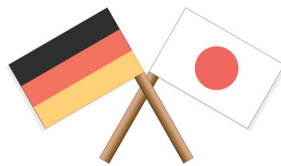
2015	5月23日	新潟国際情報大学と協力で連続講座「異文化塾 ドイツ再発見」10月まで5回開催。第1回は「ドイツの歴史の成り立ち」
	5月24日	総会、例会
	8月8日 ） 21日	新潟ドイツ映画祭。「モーツァルトの恋」など上映。シネ・ウインド
	9月18日	平野佳恵&斉藤晴海 「Lied duo Eveil コンサートシリーズ2 子どもの世界とドイツ」を後援
	9月23日	日独協会連合会主催の「若手会員の集まり」、ドイツ大使館主催の「日独協会まつり」に参加。大使館（東京）
	10月3日	マグデブルク大学との交流報告会・懇親会
	10月7日	後援事業の新潟オクトーバーフェスト2015
	12月13日	クリスマス例会
	2016	1月24日
4月23日		G7農業大臣会合歓迎レセプション
5月28日		総会、例会。トレフプункト（情報交換会）で、佐藤孝氏が「学术交流から市民交流へ～科学技術と水運の街～マグデブルク」、谷山朝一氏が「若手会員の活動と現状」、栗原道平氏が「設立40年記念誌・領事館記念碑建立・全国日独協会連合会の新潟開催」について
7月2日 ） 3日		「まつだいサマーキャンプ2016」。カールバンクスハウス訪問とキャンプ。十日町市の同ハウス
8月6日		新潟まつり花火とドイツ気分で信濃川クルーズ
9月4日		ドイツの詩と歌曲の愉しみ。神林恒道氏による講演「ドイツロマン主義の絵画と音楽」、鈴木愛美氏（ソプラノ）と朴令鈴氏（ピアノ）による「珠玉のドイツ歌曲」。新潟市芸術文化振興財団との共催。新潟市民芸術文化会館
10月29日 ） 11月1日		新潟ドイツ映画祭。「顔のないヒトラーたち」など上映。シネ・ウインド
11月26日		こだわりのシュトレンを味わう会。講師は小林百合子氏
12月10日		クリスマス例会
2017		1月17日
	1月20日	総務省が協会顧問カール・バンクス氏と妻クリスティーナ夫妻に「ふるさとづくり大賞」最高賞の総理大臣賞授賞を発表
	5月20日	総会、例会。トレフプункトで田中茉莉恵氏が「博物館から見たドイツ」、江畑徹氏が「ドイツ美術について クラーナハとドイツ表現主義」。新潟市のドイツ領事館跡地に記念碑建立を決定
	7月1日 ） 2日	まつだいサマーキャンプ2017。十日町市の同ハウス

2017	7月15日	日独ゼミナール。小林繁子・新大准教授が「魔女迫害の歴史とドイツ」をテーマに10月までの4回のシリーズで。クロスパルにいがた	
	8月5日	ドイツ気分て信濃川クルーズ	
	10月9日	新潟オクトーバーフェストにブース	
	10月21日	阿咩（吉田）旅人氏の歌と栄長敬子氏のピアノによるコンサート「シューベルト歌曲集<美しき水車小屋の娘>」。新潟青陵大学の青陵ホール	
	10月28日 ↓ 11月3日	新潟ドイツ映画祭。「わすれな草」など上映。シネ・ウインド	
	11月7日	特別講演会。水島信氏による「日本とドイツの都市景観は何故違うか」。クロスパルにいがた	
	11月23日	コンサート「Musik! Musik!! Musik!!!」。平野佳恵氏（ソプラノ）と斉藤晴海氏（ピアノ）。青陵ホール	
	11月25日	こだわりのシュトレンを味わう会。講師は小林百合子氏。アンクルペペ	
	12月16日	クリスマス例会	
	2018年	3月1日	ドイツ領事館記念碑建立に向け募金活動を始める
		5月19日	総会、例会。トレフブント
7月22日		まつだいサマーキャンプ2018。「妻有ビール」を見学。十日町市の同ハウス	
9月22日		ドイツワインクルーズ	
10月6日		日独ゼミナール。阿部ふく子・新大准教授が「ドイツ観念論と現代」。クロスパルにいがた	
10月8日		新潟オクトーバーフェスト	
10月20日 ↓ ～26日		新潟ドイツ映画祭。「ヒトラーへの285枚の葉書」など上映。シネ・ウインド	
11月3日		コンサート。近野賢一氏（バリトン）、栄長敬子氏（ピアノ）で「シューベルト歌曲集<冬の旅>」。青陵ホール	
11月25日		こだわりのシュトレンを味わう会。講師小林百合子。アンクルペペ	
12月15日		クリスマス例会。伊藤聡氏が「日本語になったドイツ語」について講演	



新潟ドイツ領事館跡記念碑

明治元年から150年。2019年4月20日、新潟市の信濃川左岸、萬代橋近くのドイツ領事館跡地に建てられる記念碑の除幕が行われる。当協会が建立を呼びかけたところ、趣旨を理解し支援してくれた方々から賛同人として名を連ねてもらった。募金活動も行い、浄財も多くいただいた。日本が大きく変わっていくときに、新潟港は開港五港の一つとして国際貿易の拠点に位置づけられた。そこに13年もの間、1人のドイツ領事が活動していた。このこと自体が異例だ。そして元号が変わる年に記念碑が建つ。ドイツ領事館の記念碑は他都市にはない。「新潟がますます大きい国際都市になることを願って…」(募金の趣意書)ということもある。ささやかなお礼の意味も込めて賛同人、寄付者の名簿を掲載させていただきたい。



賛同人としてご支援いただいた方々

浅見 直（長岡療育園医師）
アンティエ・グメルス（画家、在ドイツ）
五十嵐瑠美子（新潟県洋舞踊協会会長）
石田三夫（新潟県商工会連合会会長職務代行副会長）
伊藤善允（新潟郷土史研究会会長）
諫山 正（「みなとまち新潟の社会史」監修者）
上原誠一郎（画家）
ヴォルフガング・ボックホルト（新潟日独協会顧問、在ドイツ）
江口 歩（有限会社ナマラエンターテインメント代表）
大熊 孝（新潟市潟環境研究所所長）
大倉 宏（砂丘館館長）
大越章吾（日本歯科大学新潟生命歯学部教授）
大杉一宏（新潟青年会議所理事長）
大橋武紀（NST 新潟総合テレビ代表取締役社長）
小川 健（佐渡汽船代表取締役社長）
小田敏三（新潟日報社代表取締役社長）
小田良彦（新潟日独協会顧問）
折笠正弘（平出修研究会事務局長）
カール・ベンクス（建築デザイナー）
神田勝郎（北方文化博物館館長）
神林恒道（新潟文化の記憶館館長）
栗原美樹（UX 新潟テレビ 21 代表取締役社長）
小島富美子（にいがた湊あねさま倶楽部代表）
小林幸子（歌手）
小松茂樹（新潟信用金庫理事長）
斎藤正行（新潟・市民映画館シネ・ウインド代表）
笹川 力（新潟市民病院名誉院長）
佐藤隆夫（BSN 新潟放送代表取締役社長）
塩田純一（美術評論家、水と土の芸術祭アート・ディレクター）

清水不二雄

新田見登（新潟ドイツワイン協会会長）

鈴木英介（みなと・さがんプロジェクト代表）

関 昭一（新潟青陵学園理事長）

高橋 姿（新潟大学学長）

高橋 浩（日本通運新潟支店長）

田中榮一（富士運輸代表取締役社長）

徳永健一（郷土の文化に親しむ会会長）

中山輝也（新潟県国際交流協会理事長）

南波秀憲（リンコーコーポレーション代表取締役社長）

野内隆裕（路地連新潟代表、日和山五合目館長）

能登武史（アートミックスジャパン実行委員会副会長／総合プロデューサー）

長谷川義明（元新潟市長）

長谷川了（新潟県信用組合理事長）

平山征夫（元新潟県知事）

福田勝之（新潟商工会議所会頭）

堀 一（新潟県中小企業団体中央会会長）

堀川 武（新潟市国際交流協会代表理事）

本間達郎（新潟県港湾空港建設協会会長）

真壁伍郎（元いのちの電話理事長）

務台昭彦（TeNY テレビ新潟放送網代表取締役社長）

矢澤健一（新潟県立歴史博物館長）

山本善政（新潟経済同友会筆頭代表幹事）

芳野 昇（長岡日独協会理事長）

渡辺敏彦（新潟日米協会会長、新潟総合学園副理事長）

（敬称略、五十音順、肩書は賛同をいただいた当時）

寄付をいただいた方々

吉田理一、児玉初子、江口歩、湯浅健次郎、和田直樹、小林淳一、大渕智絵、栗山靖子、青柳正俊、富士運輸(株)、矢澤健一、税理士法人小川会計代表社員小川健、新潟県中小企業団体中央会、(株)リンコーコーポレーション、大越章吾、佐藤康雄、関昭一・関妙子、観響道坂井久哲、日本通運(株)新潟支店、新潟信用金庫、学校法人新潟平成学院新潟国際情報大学、新潟県商工会連合会会長職務代行副会長石田三夫、佐渡汽船(株)、伊藤聡、長谷川義明、堀川武、眞壁伍郎、小島健一、新潟商工会議所会頭福田勝之、桑原聡・桑原ヒサ子、田村元人、東北電力(株)新潟支店、飯沼克英、杉浦順子、佐藤孝、志賀逸郎、若林一郎、中山輝也、カールベンクスアンドアソシエイト(有)取締役ベンクスカールハインス、芳野昇、新潟国際情報大学理事長星野元、(株)新潟総合テレビ、新潟経済同友会、山田一介、伊藤善允、源川医科器械(株)代表取締役齋藤洋、(株)本間組、学校法人新潟青陵学園、坂井康一、浅見直、江畑徹、グリーン産業(株)、グリーン産業(株)代表取締役荒川義克、安藤哲也、小林昌二、五十嵐生野モダンダンススタジオ、新潟大学工学部マゲブルク夏の学校有志、清水忠明、大林厚次、(株)高助、堀越正志、岡本典也、斎藤祐介、シネ・ウインド、菅瀬亮司、(株)新潟テレビ21、清水不二雄、永井圭三郎、新潟ドイツワイン協会新田見登、(株)新潟ビルサービス、渡辺隆、和泉徹、野村修一、広瀬秀、(株)テレビ新潟放送網、山本真希、新潟県洋舞踊協会、大熊孝、刈屋進、迎賓館TOKIWA、学校法人新潟総合学園、坂井正義、小林敦彦、小林啓志、桐生和男、鈴木聖二、新潟総合警備保障(株)、(株)加賀田組代表取締役社長市村稿、(株)イタリア軒、武藤敏明、柳本雄司、木村哲郎、田中茉莉恵、神田勝郎、おだキッズクリニック院長小田良彦、小田瑞枝、愛宕商事(株)、諫山正、アンニャ・ホップ、吉田治代、相羽利子、金子ヨネ子、本間由美子、江戸千家越後支部長鈴木裕美、小林建、鈴木潔、赤石咲子、(株)新潟眼鏡院上田茂、新潟県信用組合、サッポロビール(株)、小田敏三、神田敬輔、高橋正秀、佐藤明、服部誠司、林康生、渡辺英美子、森沢真理、吉倉久一朗、水本裕之、夏井陽三、東寛、石山真、(株)新潟日報社、(株)北越銀行、一正蒲鉾(株)、高岡信也、新潟ヤナセ(株)、佐藤食品工業(株)、ワインハウスゲアハルト(株)代表取締役佐藤邦雄、セイコーアイウェア(株)、高橋尚子、ジャズフラッシュ佐藤明子、藤田金属(株)代表取締役今井幹文、吉岡茂樹、若桑正一、岡本学、ローデンストックジャパン(株)、(株)大光銀行、伊藤由紀子、笹川力、大野吉昭、徳永健一、(株)皆川組、(株)新潟放送、栗原道平、佐藤隆夫、笠原佳吾、新潟県港湾空港建設協会会長本間達郎、茨城県日独文化協会会長井上壽博、小林健太郎、堀川雅弘、塩田純一、吉田至夫、鈴木洋子、小島由紀夫、三井物産(株)、響田收、谷山朝一、岩田和雄、井原彩希、高井盛雄、小林りり子、真水康樹、NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部、高橋周平、渡辺健一、九里浩之、伊藤恭子、齋藤尚明、玉井和人、吉原耕一、水品桂子、塚田敏成、柳本利夫、キーン誠己、竹内希六、橋本眞孝、本間良信、(株)博進堂清水伸、坂井範子、長谷川健司、吉田京子、越前屋ホテル、桐生裕子、吉田優子、ヴォルフガング・ボックホルト、加藤眞三、山田耕太、五十嵐祐司、栄長敬子、三菱商事(株)新潟支店、高橋優太、高橋姿、他9名、募金2回

(2019年2月現在)

(敬称略、順不同、肩書は寄付当時)

編集後記

もっと簡素な冊子を考えていました。特段の周年記念イベントを行ったわけでもなく、他の協会記念誌のようにフォーマルで立派なものをつくる余裕もなかったという事情もあります。編集委員会などは特段設けず、折に触れて協会役員を中心に方向性を確認し合いながらまとめたものです。記録に残すことを基本に2019年春の新潟市での全国日独協会連合会総会開催、ドイツ領事館跡地での記念碑除幕をにらんで「突貫工事」で仕上げることになりました。編集方針といっても示したのは、会員が「自由に好きなことを書く」だけです。短期決戦に一生懸命付き合ってくれた皆さんには感謝の言葉しかありません。(T)

新潟日独協会 40年の歩み

発行日 2019年3月1日
発行者 新潟日独協会
〒951-8052
新潟市中央区下大川前通二ノ町2230番地33
万代橋ビルディング11階
信濃川ウォーターシャトル株式会社内
制作・印刷 株式会社ミューズ・コーポレーション
〒950-0801
新潟市東区津島屋7-29
電話025(250)9555

万一、落丁・乱丁などお気付きの点がございましたら
当社宛にお知らせ下さい。

頒価1,000円

